

4 学校経営方針

県立読谷高等学校

《凡事徹底・文武両道を実践する学校づくり》

～人格形成と進路実現に向け進化する読高～

I 教育目標

個人の尊厳、真理の探究、平和を希求する心を基調にし、心身ともに健康で個性豊かな創造性・国際性に富み、地域を愛する人間の育成を目指す。

II 学校経営方針

- ① 危機管理を徹底し、安心安全で快適な学習環境・職場環境の整備・充実を目指す。
- ② 基本的生活習慣の確立から希望進路実現に取り組む真の学力向上を目指す。
- ③ 情熱と使命感を持って指導力向上に努める教職員の育成を目指す。
- ④ 地域に根ざし、地域から信頼される学校づくりを目指す。

III 育てる生徒像

- ① 意欲に満ち、文武両道を実践できる生徒を育てる。
- ② 高い志を持ち、粘り強く努力する生徒を育てる。
- ③ 人、自然、地域を愛し、沖縄を発展させる生徒を育てる。
- ④ 国際社会、情報社会に対応できる生徒を育てる。
- ⑤ 凡事が徹底でき、人の尊厳を守る良識ある生徒を育てる。

IV 重点努力事項と具体的方策

文武両道による学力向上 ①部活動と学習指導の充実 ②体力・気力・集中力の育成 ③基本的生活習慣の確立 ④清掃活動の徹底 ⑤部活動部長会・顧問会の実働	希望進路の実現 ①家庭学習・自学自習習慣の定着 ②模試・講座・小論指導等の活用 ③進路指導検討会・講演会の充実 ④進路のしおり・学習室の有効活用 ⑤国公立大学合格者の増加 ⑥生き生き活性化支援事業の推進 (Dゾーンの解消)	凡事徹底の推進 ①態度教育の推進 (挨拶・返事・履物整頓・身だしなみ) ②思いやりのある言動 ③快適な学習環境(整理整頓) ④時間の順守 (登下校、授業開始・終了、集会、会議等) ⑤校時中の携帯電話使用禁止
授業力の向上 ①校内授業研究とPDCAサイクルの充実 ②各教科の到達目標の明確化 ③基礎基本定着指導の徹底 ④新学習指導要領への対応 ⑤進路実現に繋がる授業展開 (各教科センター試験の平均点目標) ⑥読解力の向上	学校の活性化 ①部活動加入率アップ(80%以上) ②県高校総体男女総合10位内 (全競技ベスト8以上を目指す) ③九州・全国大会等進出部の増加 ④自主的な生徒会活動の推進 ⑤学年会の充実 ⑥校内緑化の推進	信頼される学校づくり ①PTA活性化と進路支援体制強化 ②地域社会の教育力の活用 (学校評議員、同窓会等との連携) ③外部人材の活用 (講演会・研修会等の開催) ④広報活動の充実 ⑤生徒の活躍の称賛・発信

※目指す学校像

「生徒が通いたい学校」「保護者が通わせたい学校」「教職員が勤務したい学校」
 「生徒、保護者、卒業生、教職員が誇りとする学校」づくりに取り組む。